

令和6年度 第1回 羅臼町地域公共交通活性化協議会 次第

日時:令和6年5月17日(金)13:30～

会場:羅臼町役場1階第1・2・3会議室

1 開会

2 議題

- (1) 羅臼町地域公共交通活性化協議会規約等について
- (2) 会長の選出及び副会長の指名の承認
- (3) 羅臼町における地域公共交通の現状と課題について
- (4) 羅臼町地域公共交通計画策定に向けた事業の実施概要について

3 その他

4 閉会

【配布資料】

- 資料1 羅臼町地域公共交通活性化協議会規約
- 資料2 町民アンケート回答結果まとめ
- 資料3 羅臼町地域公共交通計画策定に向けた事業の実施概要

設 立 趣 意

国は、平成19年に制定した「地域公共交通活性化再生法」を令和2年に改正し、『地域公共交通計画の策定を努力義務』としました。

また北海道（釧路・根室地域）においては、「釧路・根室地域公共交通活性化協議会」を令和4年7月に組織し、令和5年5月に「北海道釧路・根室地域公共交通計画」を策定しました。

羅臼町では、先般策定された「第8期羅臼町総合計画」において、「地域公共交通の充実」を前期重点施策と位置づけ、今後は新たな交通体系等の計画を策定することとしています。

以上のことから、羅臼町地域公共交通活性化協議会は、羅臼町の多くの町民が満足感の得られる移動手段の実現（目的）を目指し、地域の公共交通についての様々な協議をする場として、また「(仮称)羅臼町地域公共交通計画」を策定することを目標に設立します。

目 的

多くの町民が満足感の得られる移動手段の実現

「(仮称)羅臼町地域公共交通計画」を策定

目 標

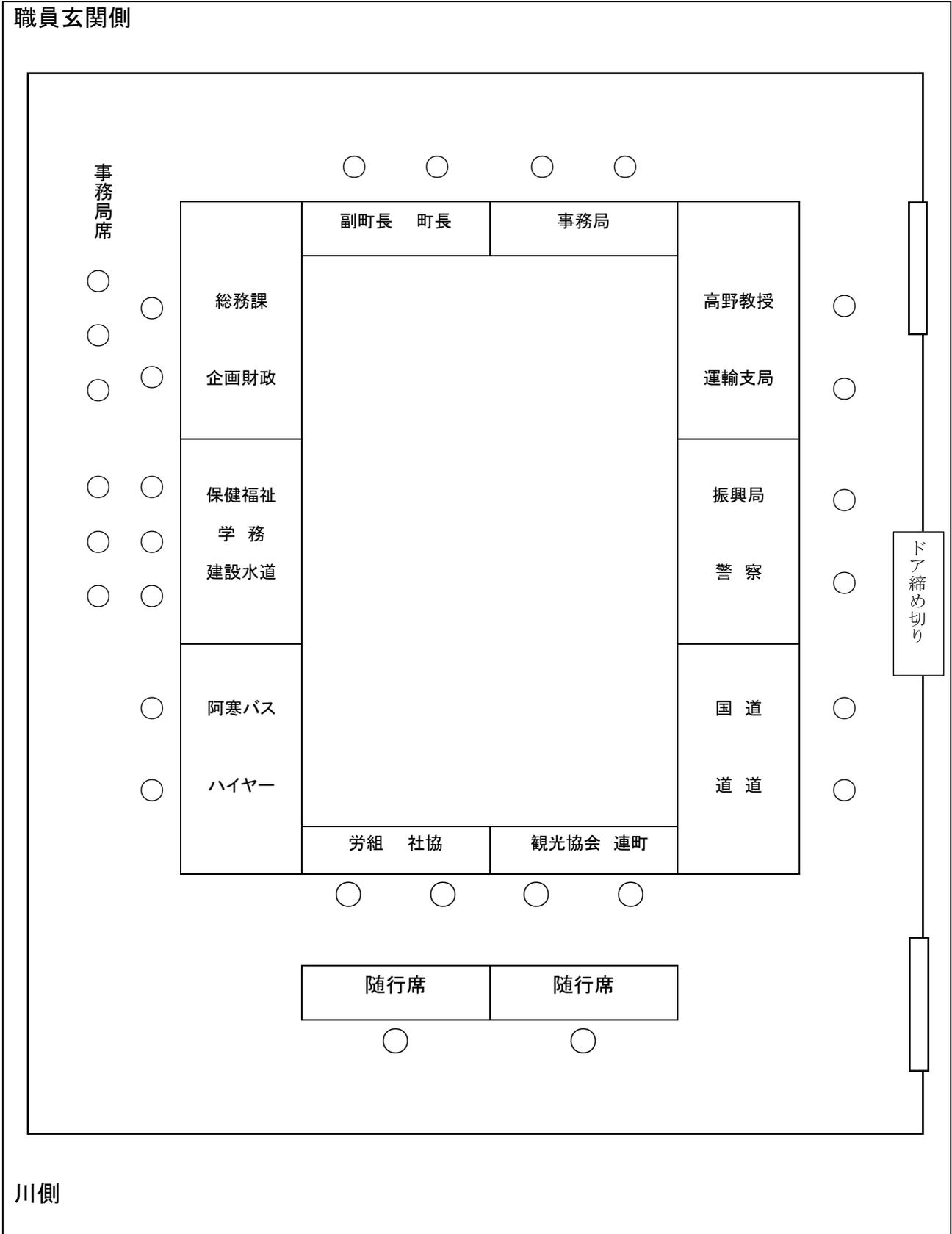
地域の公共交通についての様々な協議をする場

羅臼町地域公共交通活性化協議会

令和6年度 第1回 羅臼町地域公共交通活性化協議会 出席者名簿

区分	組織名	職名等		備考	随行者
公共交通事業者等	阿寒バス株式会社	代表取締役	香川 眞 廣		営業本部長 須田 広伸
	羅臼ハイヤー株式会社	代表取締役	岡野 秀 成		
	社会福祉法人 羅臼町社会福祉協議会	事務局長	石田 順 一		
	私鉄総連阿寒バス支部	執行委員長	稲船 裕 幸		
町民	羅臼町連合町内会	事務局長	大目 峰 一		
	羅臼町老人クラブ連合会	会長	加藤 勉	※欠席	
	一般財団法人 知床羅臼町観光協会	会長	大野 貴 史		
道路管理者	釧路開発建設部中標津道路事務所	所長	菅野 誠		
	釧路総合振興局釧路建設管理部	中標津出張所長	吉田 英 隆		
	羅臼町	建設水道課長	佐野 健 二		
運輸支局	北海道運輸局釧路運輸支局	首席運輸企画専門官	松田 順 一		
振興局	北海道根室振興局 地域政策課	課長	丸山 勝 之		地域振興係長 上ヶ島 亮
警察	北海道警察釧路方面中標津警察署	交通課長	渡辺 智 博		
有識者	北海道大学大学院工学研究院	教授	高野 伸 栄		
羅臼町		副町長	川端 達 也		
	企画財政課	課長	鹿又 明 仁		
	企画財政課	企画財政係長	遠嶋 伸 宏		
	総務課	課長	飯島 東		
	総務課	総務係長	岩見 慎 晃		
	保健福祉課	課長	本見 泰 敬		
	保健福祉課	福祉・介護係長	七海 隆 之		
	羅臼町教育委員会 学務課	課長	八幡 雅 人		
	羅臼町教育委員会 学務課	総務管理係長	櫻庭 千 尋		
	町民環境課	課長	野田 泰 寿	事務局長	
	町民環境課	町民環境係長	山口 樹 里	事務局次長	
	町民環境課	町民環境係長	吉田 孝 幸		

配席図(役場1階会議室)



(設置)

第1条 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通計画（以下「交通計画」という。）の策定に関する協議及び交通計画の実施に係る連絡調整を行うとともに、道路運送法（昭和26年法律第183号）の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、羅臼町地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 協議会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 本町における地域公共交通の在り方に関すること。
- (2) 交通計画の策定及び変更の協議に関すること。
- (3) 交通計画の実施に係る連絡調整に関すること。
- (4) 交通計画に位置付けられた事業の実施に関すること。
- (5) 町運営有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (6) その他協議会が必要と認める事項

(組織)

第3条 協議会の委員は次に掲げる者により構成し、羅臼町長が委嘱する。

- (1) 羅臼町長が指名する職員
- (2) 国土交通省北海道運輸局釧路運輸支局長が指名する者
- (3) 北海道根室振興局長が指名する者
- (4) 公共交通事業者の代表者が指名する者
- (5) 一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体等の代表
- (6) 住民又は利用者の代表
- (7) 道路管理者の代表者が指名する者
- (8) 北海道釧路方面中標津警察署の代表者が指名する者
- (9) その他協議会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(役員)

第5条 協議会に、次に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 若干名
- 2 会長は、羅臼町副町長をもって充て、副会長は、委員の中から会長が指名する。
 - 3 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
 - 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(協議会の運営)

第6条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員は、やむを得ない理由により会議に出席することができないときは、あらかじめ通知された事項について、書面により議決権を行使し、又は当該委員の所属する団体の職員を代理人として議決権を委任することができる。この場合において、当該委員は、総会に出席したものとみなす。

5 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明等を求めることができる。

6 会議は、原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

7 会議の案件について会長が軽微な事案と判断した場合又は委員の招集が困難である場合等にあつては、開催に代えて書面の郵送又は持ち回りにより意見の聴取及び議決を行うことができるものとする。

(協議結果の取扱い)

第7条 協議会において協議が調った事項について、関係者はその結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(専門部会)

第8条 協議会は、第2条各号に掲げる事項について専門的な調査及び検討を行う必要があるときは、専門部会を置くことができる。

2 専門部会の組織、運営その他の必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第9条 協議会の業務を処理するため、協議会に事務局を置く。

2 事務局は、羅臼町町民環境課内に置く。

(その他)

第10条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

附則

(施行期日)

この規約は、令和6年4月1日から施行する。

第3条関係【組織構成員】

区分要綱第3条	組 織 名	職 名	備考
第1号	羅臼町	副町長	
第1号	羅臼町	企画財政課長	
第1号	羅臼町	総務課長	
第1号	羅臼町	保健福祉課長	
第1号	羅臼町教育委員会	学務課長	
第2号	北海道運輸局釧路運輸支局	首席運輸企画専門官	
第3号	北海道根室振興局	地域政策課長	
第4号	阿寒バス株式会社	代表取締役	
第4号	羅臼ハイヤー株式会社	代表取締役	
第4号	社会福祉法人羅臼町社会福祉協議会	事務局長	
第5号	私鉄総連阿寒バス支部	執行委員長	
第6号	羅臼町連合町内会	事務局長	
第6号	羅臼町老人クラブ連合会	会長	
第6号	一般財団法人知床羅臼町観光協会	会長	
第7号	釧路開発建設部中標津道路事務所	所長	
第7号	釧路総合振興局釧路建設管理部	中標津出張所長	
第7号	羅臼町	建設水道課長	
第8号	北海道警察釧路方面中標津警察署	交通課長	
第9号	北海道大学大学院工学研究院	教授	

第9条関係【事務局】

所属	職名	備考
羅臼町町民環境課	課長	事務局長
羅臼町町民環境課	町民環境係長	事務局次長
羅臼町町民環境課	町民環境係長	
羅臼町企画財政課	企画財政係長	
羅臼町総務課	総務係長	
羅臼町保健福祉課	福祉・介護係長	
羅臼町教育委員会学務課	総務管理係長	

地域公共交通の現状と課題

【現状】

◎移動手段はどの世代にも共通して「**自家用車が多い**」

まちづくりアンケート(一般用回答結果より)

◇羅臼町に住み続けたいか?～すぐにでも引っ越したい、いずれは引っ越したい～39.1%
「交通が不便」、「買い物などの生活の利便が悪い」

◇バスやハイヤーなどの利用のしやすさについては「満足していない」

●**新たな交通手段の導入が必要と考えている方が回答者の半数近くいる**

まちづくりアンケート(中高生用回答結果より)

◇羅臼町に住み続けたいか?～すぐにでも引っ越したい、いずれは引っ越したい～69.3%
「買い物などの生活の利便が悪い」

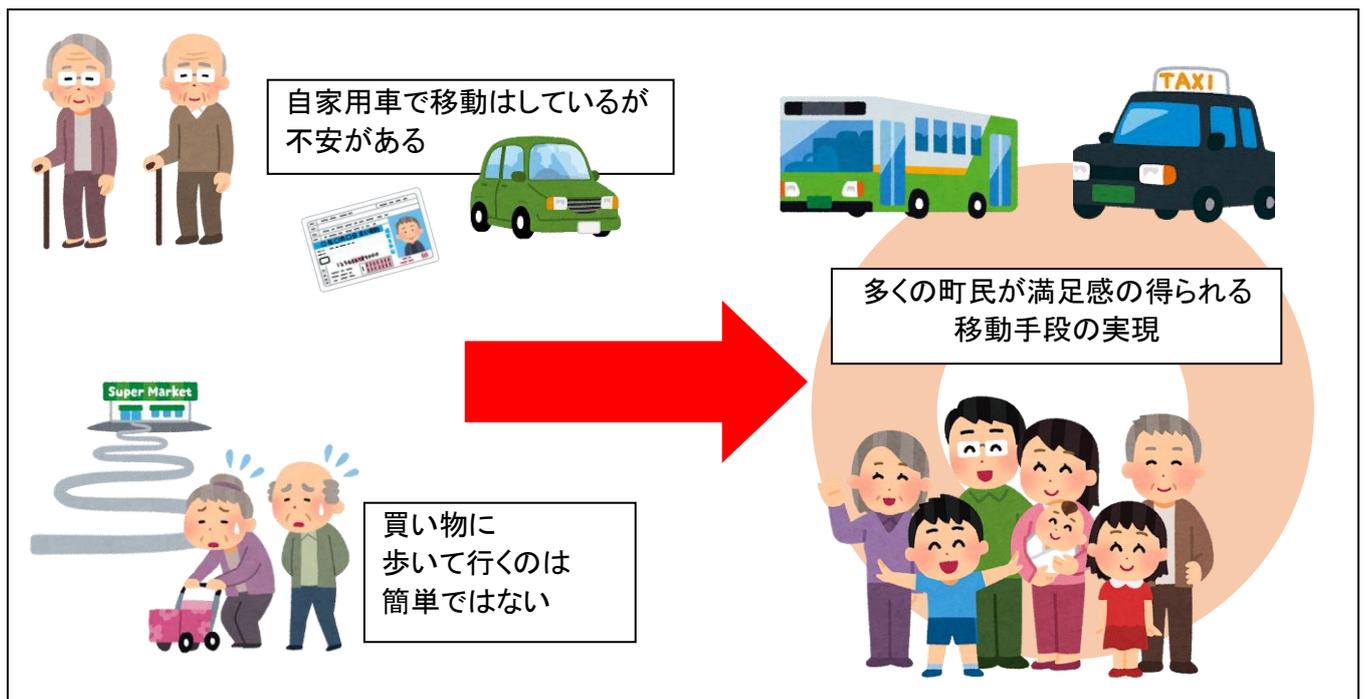
◇バスやハイヤーなどの利用について「バスを利用しているためバス運行本数の増便やダイヤを見直してほしい」

◎努力義務とされている「地域公共交通計画の策定」 → **羅臼町は未策定**

【課題】

◎どの公共交通事業者も「**運転手不足**」

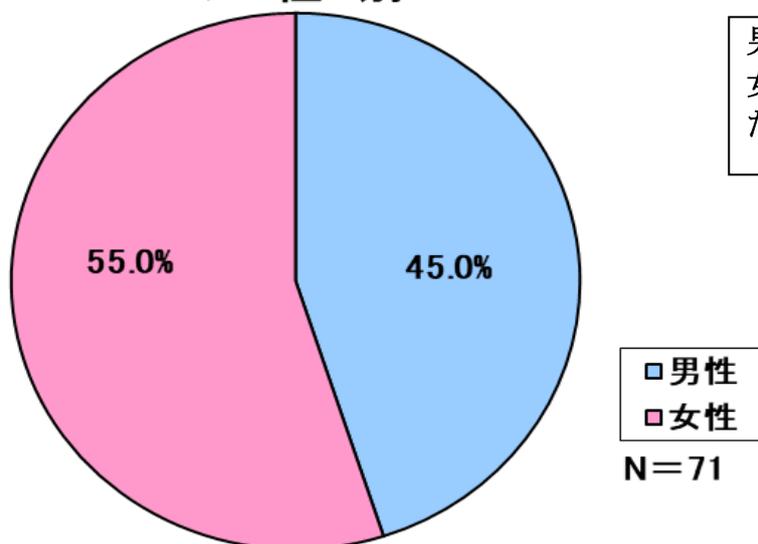
◎全国的に増えている高齢運転者の交通事故 → **運転免許証の自主返納の増加**



保健福祉課協力 羅臼町の交通利用に関するアンケート回答結果

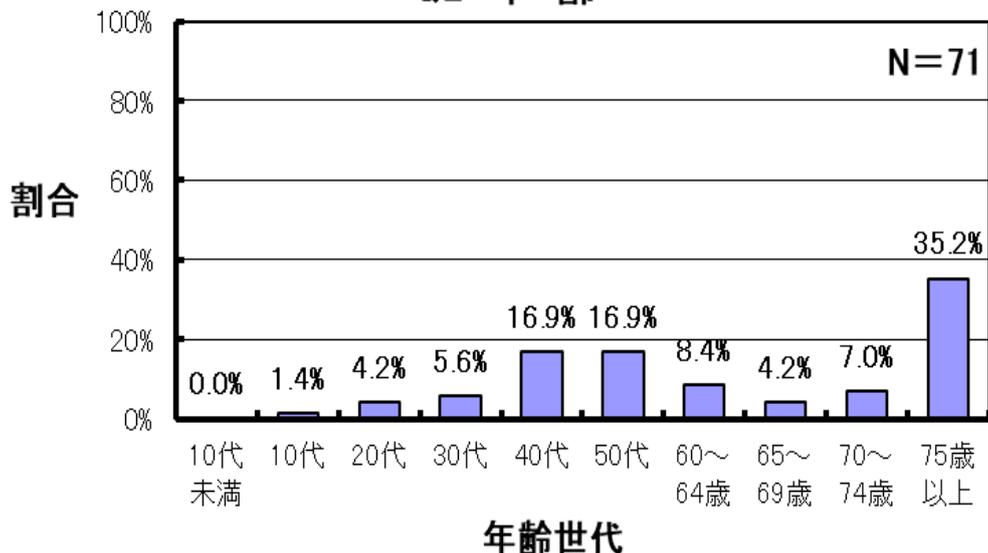
【対象】 保健福祉課社会福祉係に訪問等をした町民 71名
 【方法】 アンケート用紙への記入または職員による聞き取り
 【期間】 令和5年11月1日～令和5年11月30日
 【結果】 男性 32名、女性 39名

Q1 性別



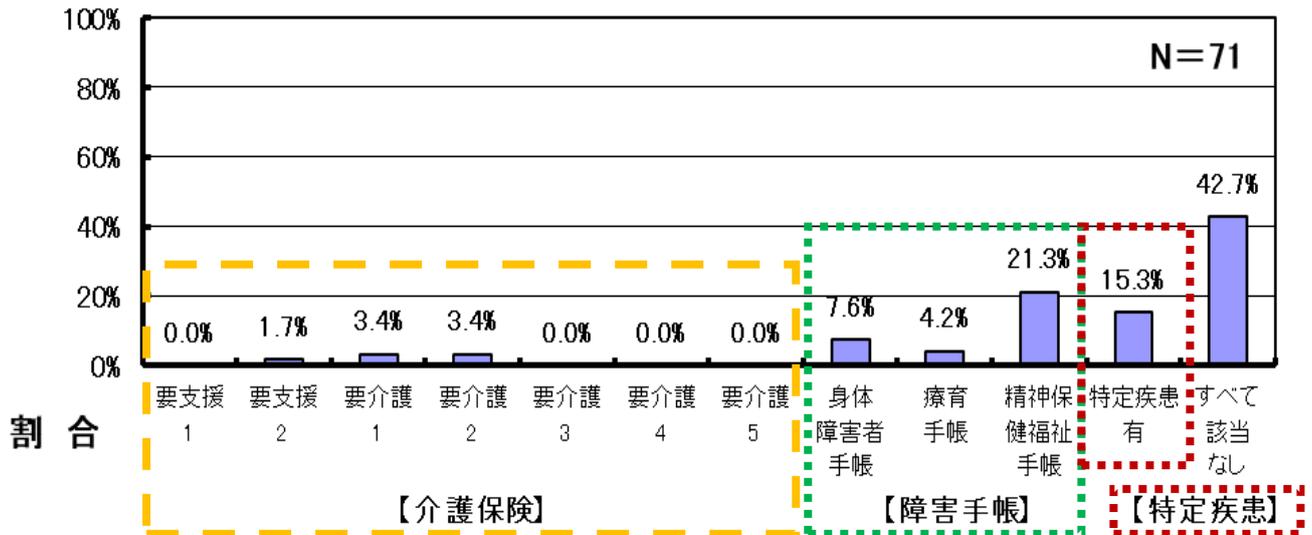
男女比については、女性が若干多かったが、だいたい半々であった。

Q2 年齢



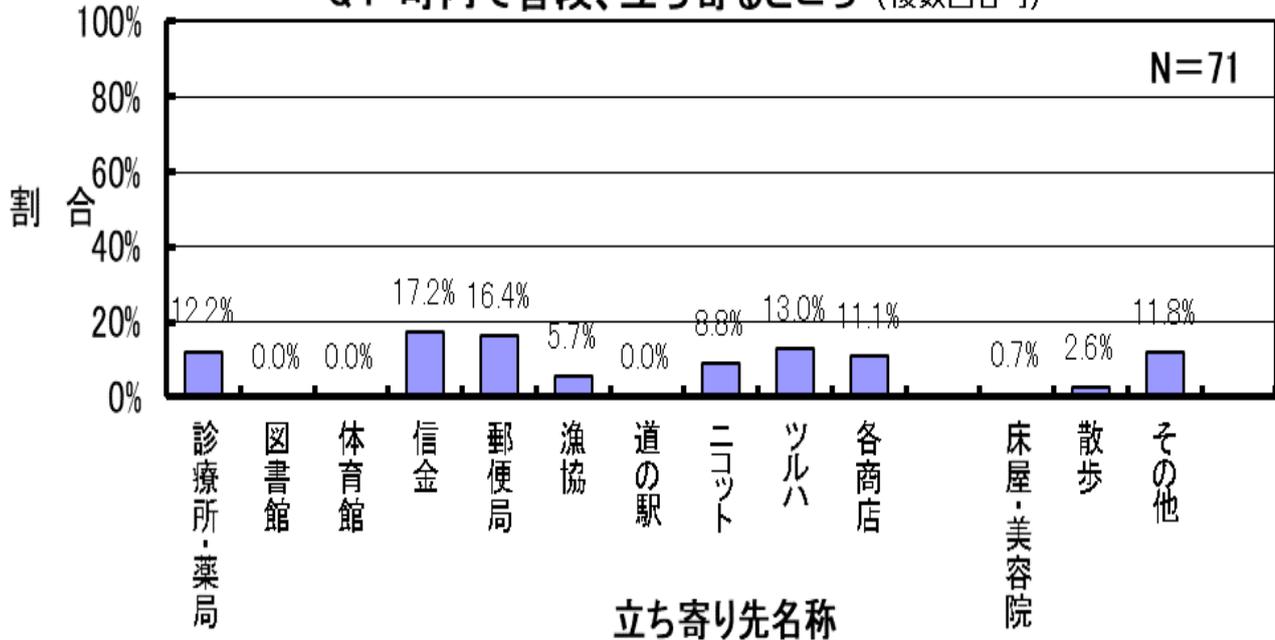
年齢については、75歳以上が最も多く、次いで、40代と50代が同数であった。

Q3 保険証・手帳の有無 (複数回答可)



介護度や手帳の有無については、すべてに該当しない方が最も多かったが、次いで、精神保健福祉手帳を持っている方、特定疾患がある方となった。

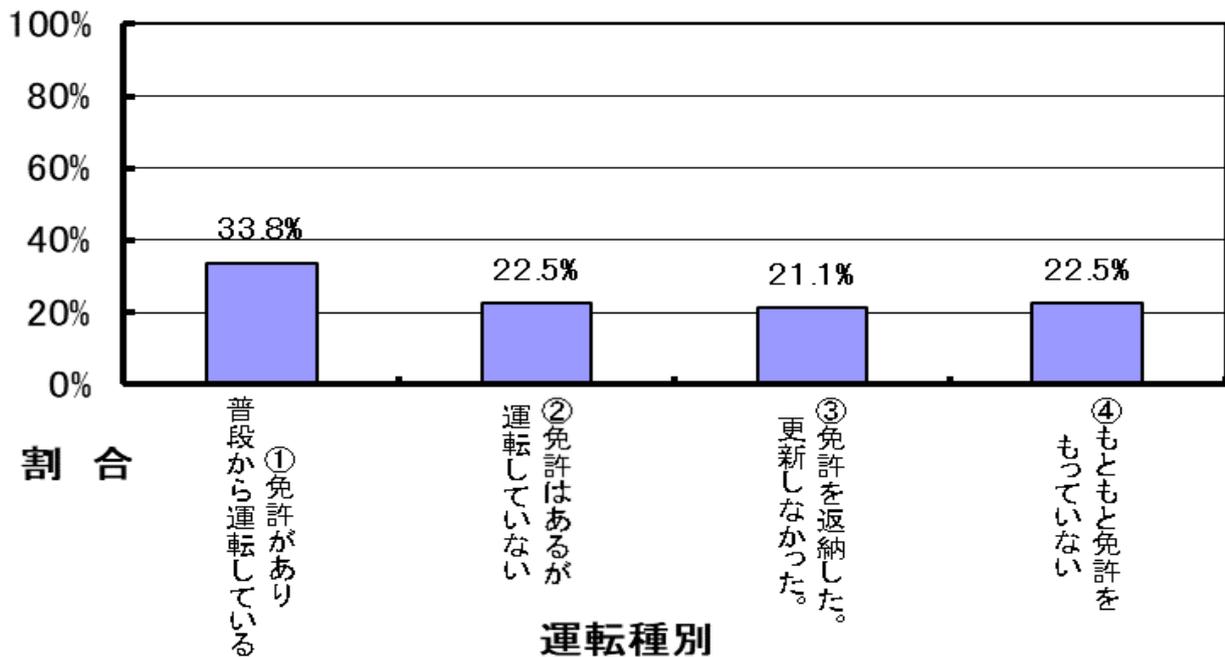
Q4 町内で普段、立ち寄るところ (複数回答可)



役場への訪問時での聞き取りであったため、役場以外で立ち寄るところを訪ねると、金融機関が最も多く、次いで買い物、診療所や薬局となった。各商店の内訳としては、セイコーマート各店や東谷商店という回答があった。その他としては、通所（とっどる）などがあった。

Q5 自動車の運転について

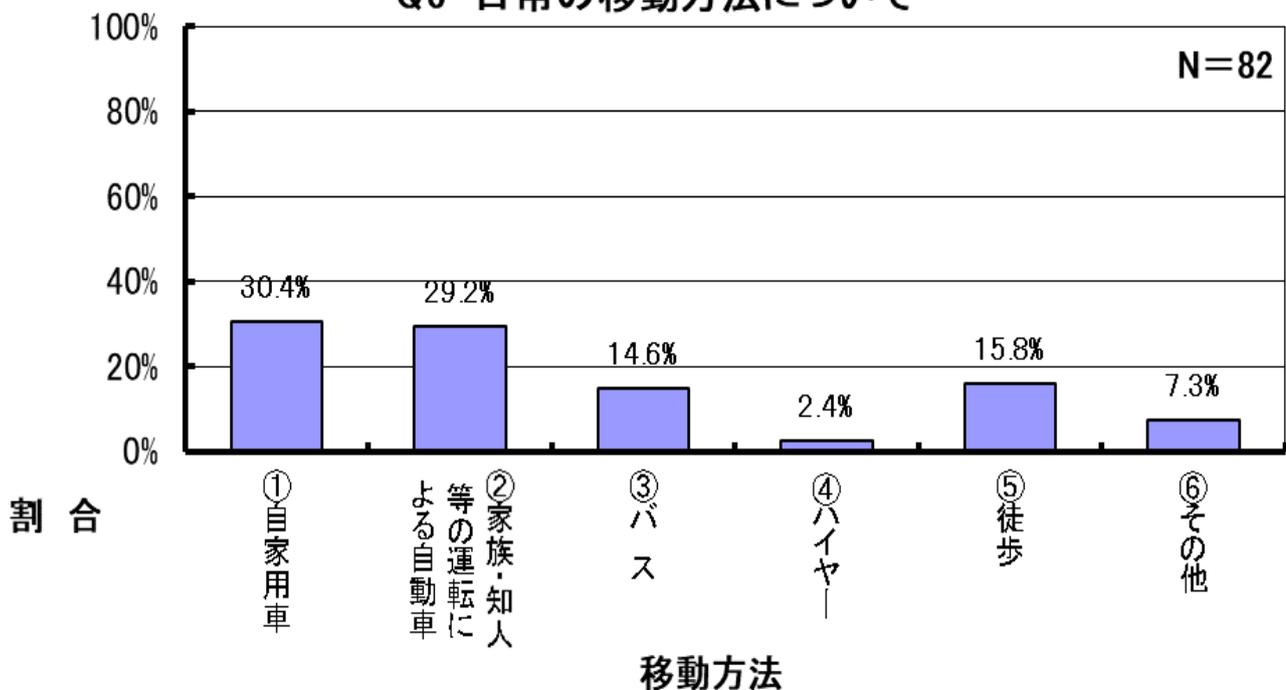
N=71



運転については、免許があり普段から運転している方が若干多かったが、その他の回答については、ほぼ差が無かった。

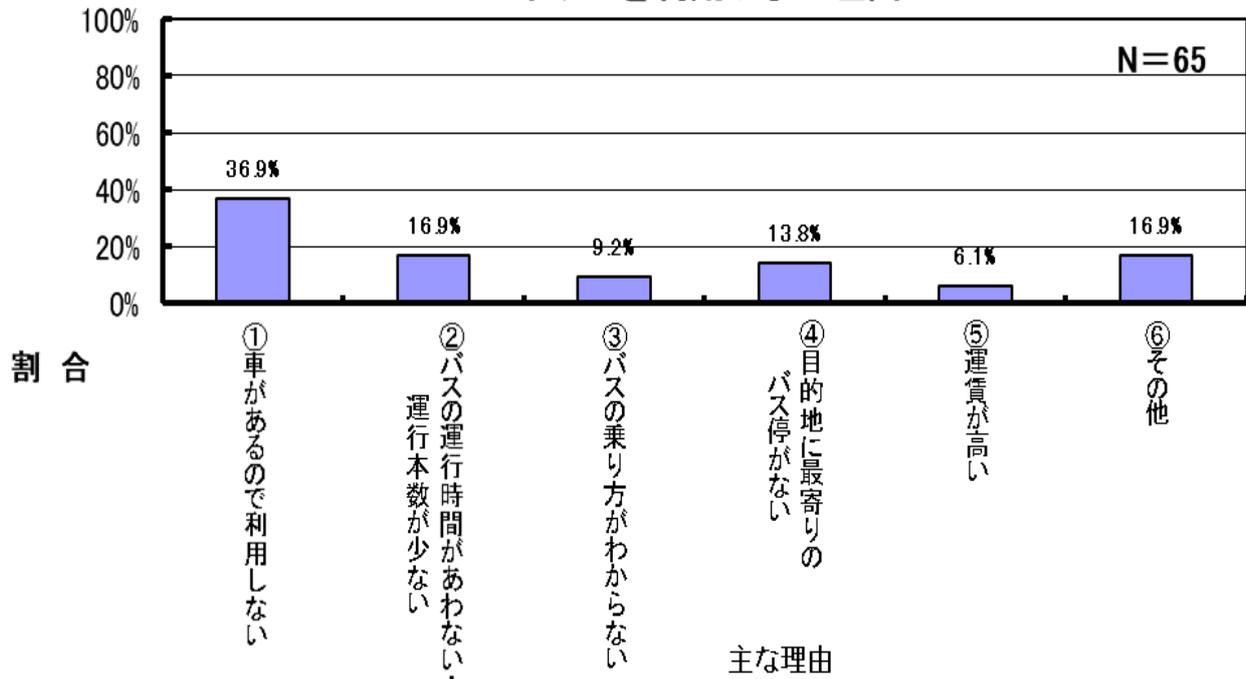
Q6 日常の移動方法について

N=82



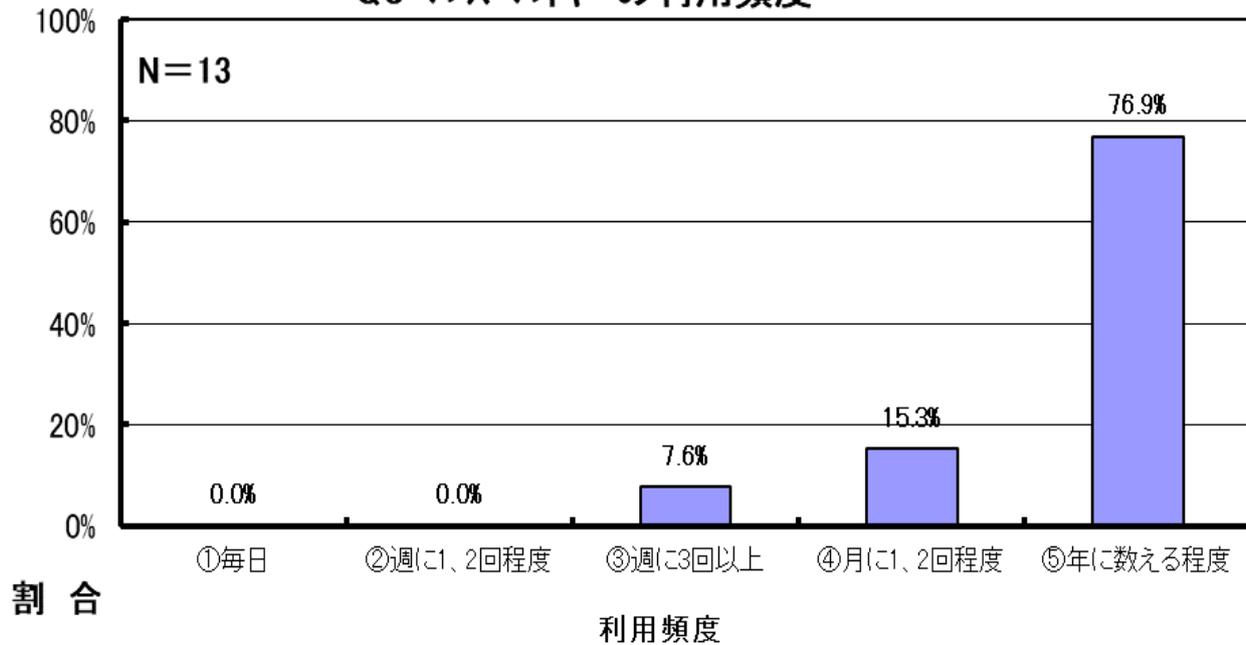
日常の移動方法としては、自身によるものか家族等によるものかは別として、車を利用することが最も多くなった。ハイヤーよりはバスの利用が多い結果となった。その他としては、「有償運送」「通所送迎」「透析送迎」などがあつた。

Q7 バス・ハイヤーを利用しない理由



Q6で「①②車を利用している」と回答した方が、なぜバス・ハイヤーを利用しないかとの問いでは、バスが自分にとっては便利ではないと考えていることが窺える。その他としては「そもそも歩行が困難」という回答であった。

Q8 バス・ハイヤーの利用頻度



Q6で「③バスを利用」「④ハイヤーを利用」と回答した方の利用頻度としては、年に数える程度が最も多かったが、次いで月に1・2回、週に3回以上との回答であった。

第8期羅臼町総合計画 羅臼町まちづくりアンケート（一般用）回答結果

【対象】 18歳以上の町民 1000名

【方法】 アンケート用紙への記入による郵送回収または WEB 回答

【期間】 令和5年2月15日～令和5年3月15日

【結果】 470名 回答率47.0%

WEB 回答 106人 22.6%、郵送回答 364人 77.4%

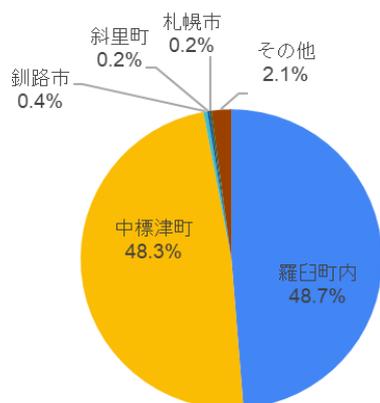
【結果 抜粋】

■あなたの暮らしについてお伺いします。

問10 日常生活における日用品（食料品など）の買い物について、最も多いと思う行き先と移動手段をそれぞれ1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

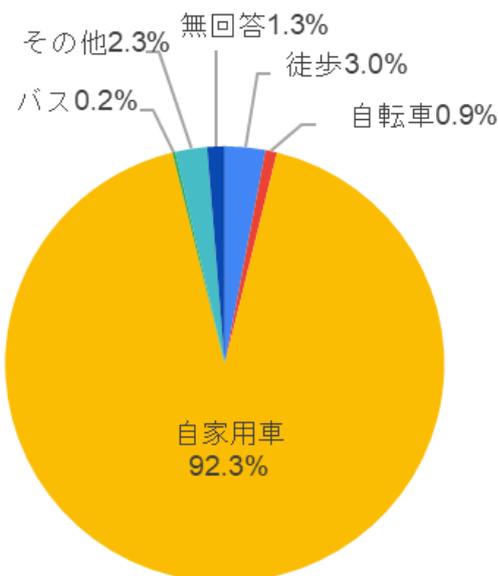
最も多いと思う行き先は、羅臼町内が48.7%、中標津町が48.3%と、ほぼ同数であった。
移動手段は自家用車が92.3%と圧倒的に多かった。

最も多いと思う行き先（食料品など）



その他：コープ等の宅配、通信販売、ネットショップ

移動手段（食料品など）

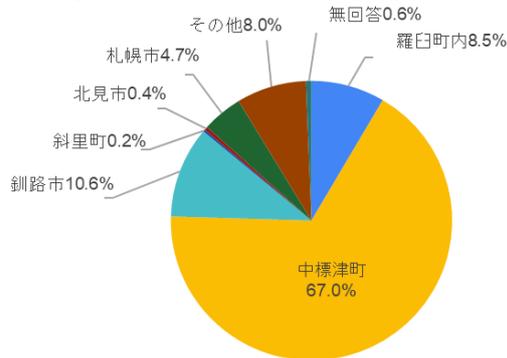


その他：家族の車、インターネット、コープ等の宅配、自分の店舗で、知友人に依頼

問11 日常生活における非日用品（衣料品など）の買い物について、最も多いと思う行き先と移動手段をそれぞれ1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

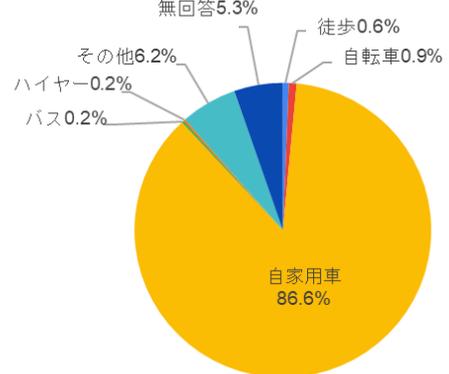
最も多い行先は中標津町の67.0%、次いで釧路市が10.6であった。
移動手段は自家用車が86.6%と圧倒的に多かった。

最も多いと思う行き先（衣料品など）



その他：未記入、十勝管内、コープ等の宅配、通信販売、ネットショップ

移動手段（衣料品など）

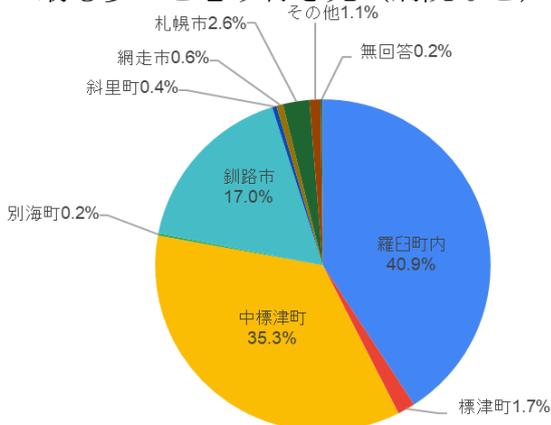


その他：未記入、家族の車、インターネット、航空機、郵送、コープ等の宅配、知友人に依頼

問12 病院などへの通院について、最も多いと思う行き先と移動手段をそれぞれ1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

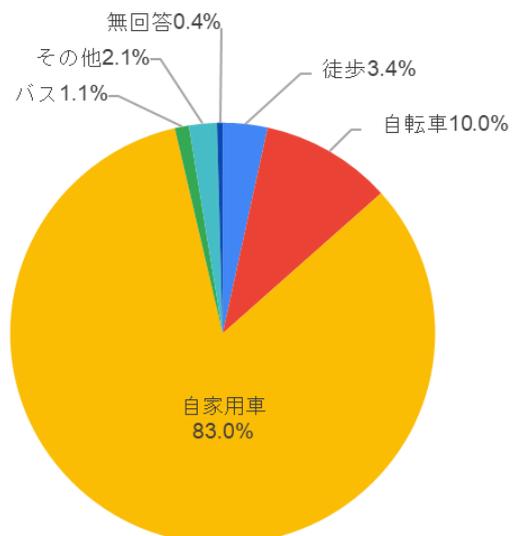
最も多い行先は羅臼町内が40.9%、次いで中標津町の35.3%、釧路市が17.0%であった。
移動手段は自家用車が83.0%と圧倒的に多かった。

最も多いと思う行き先（病院など）



その他：十勝管内、オンライン、北海道外、2地域に通院、行かない

移動手段（病院など）



その他：未記入、家族の車、社会福祉協議会、航空機

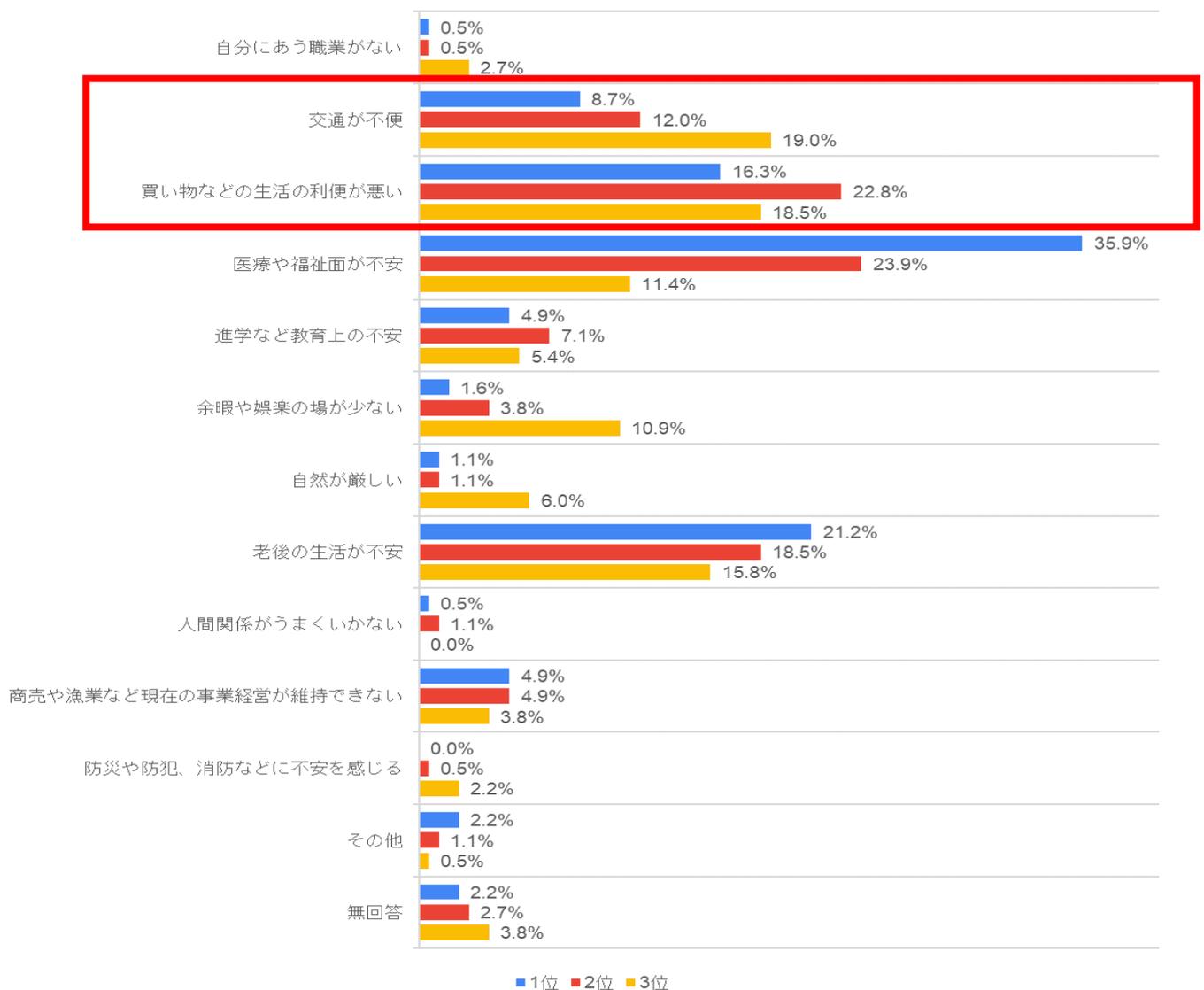
問16 あなたは、これからも羅臼町に住み続けたいと思いますか。 1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

「ずっと住み続けたい」「できるなら住み続けたい」が52.2%、「すぐにでも引っ越したい」「いずれは引っ越したい」が39.1%となり、半数以上の町民が定住し続けたいと考えていることが分かった。

「3. いずれは引っ越したい」「4. すぐにでも引っ越したい」を選んだ方の理由に当てはまるものを、1位から3位まで選んで右の枠の中に順位（1，2，3）を書いてください。

引っ越したいと思う要因の1位・2位ともに「医療や福祉面が不安」が圧倒的に多かった。「老後の生活が不安」も1位・2位ともに多く、生活をしていく上で医療や福祉に不安あることが浮き彫りとなった。

「交通が不便」「買い物などの生活の利便が悪い」も多く、公共交通の貧弱さや日用品の入手しづらさなども理由として挙げられた。



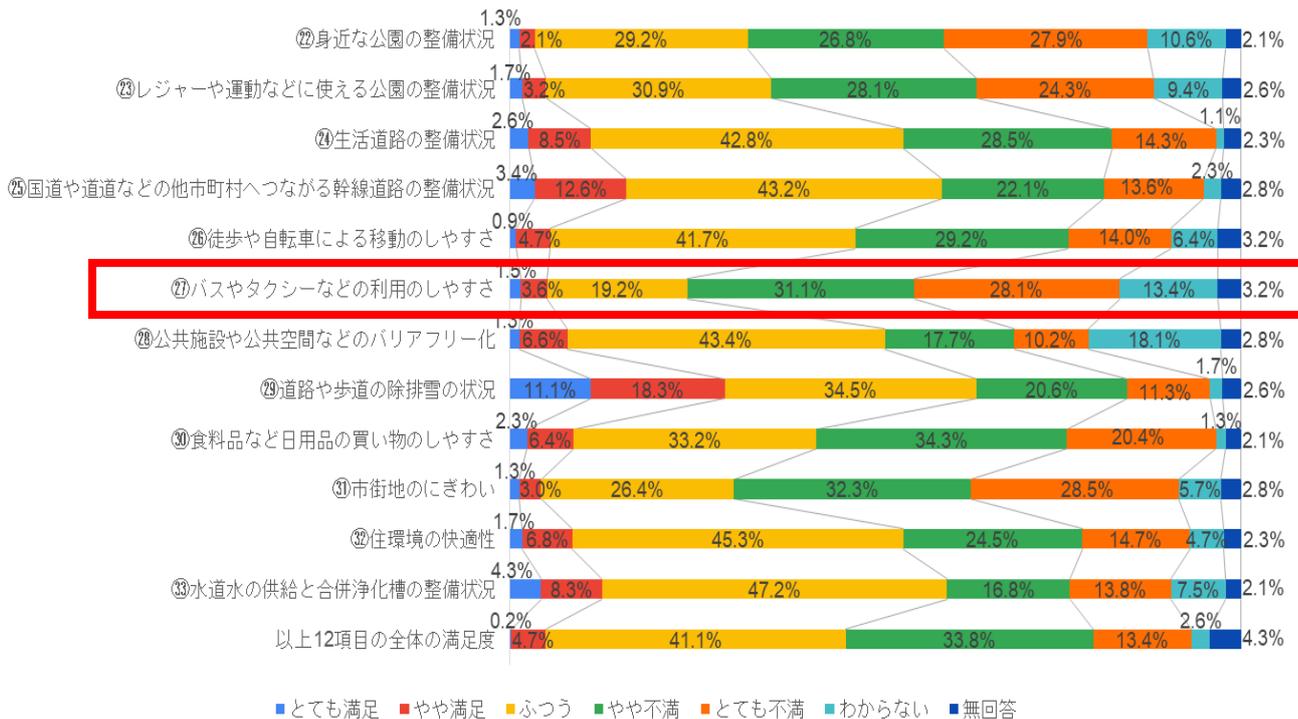
【4 まちづくりに関する項目】

まちづくりに関する「現在の満足度」については、「**㉗バスやタクシーなどの利用のしやすさ**」「**㉑市街地のにぎわい**」に対して不満傾向があることが見受けられた。

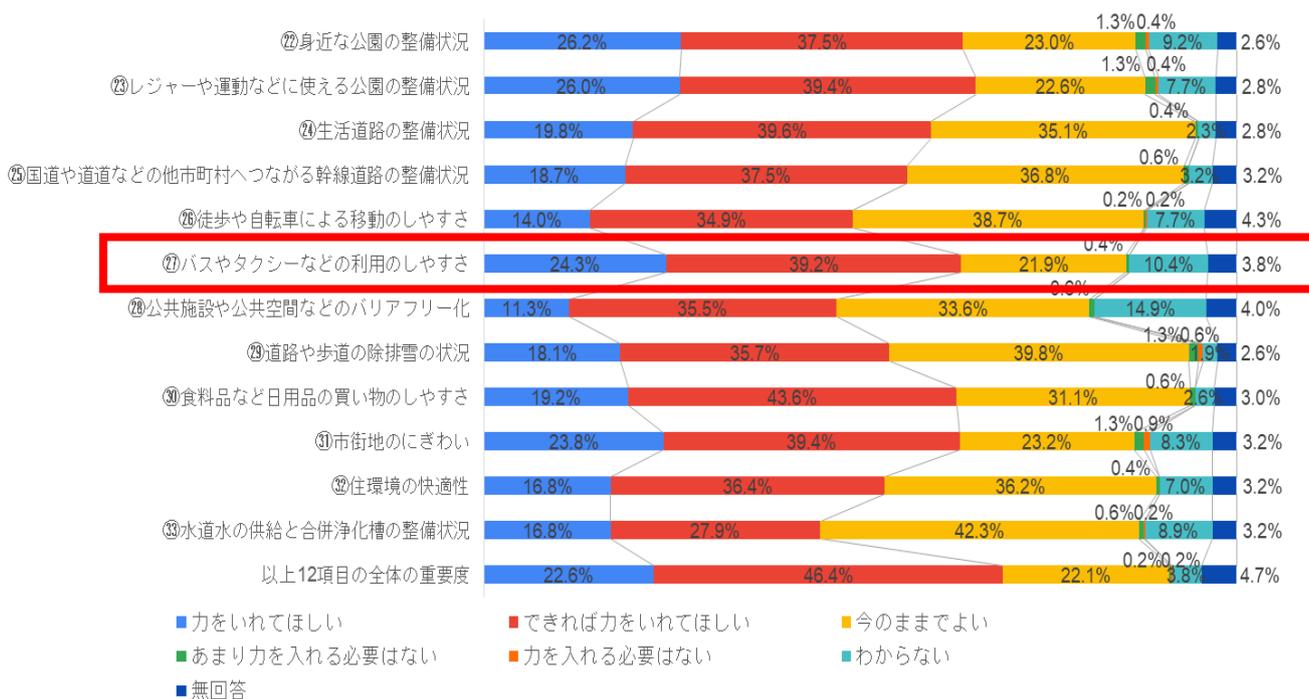
公共交通の利便性が悪い、市街地に活気が無いと思っている町民が多いことが見受けられた。

「今後の重要度」においても、公園整備や公共交通、買い物のしやすさ、市街地の賑わいに関する項目について力を入れるべきとの回答が特に多くなっている。

4 まちづくりに関する項目「現在の満足度」



4 まちづくりに関する項目「今後の重要度」



■将来に向けた人口減少対策についてお伺いします。

問19 羅臼町は毎年、転入者よりも転出者が多い状況が続いていますが、この「社会減少」を食い止めるための取り組みを行うとき、どのような政策に力を入れるべきだと思いますか。3つまで選んで番号に○印を付けてください。

その他（2.8%）では、子育てや漁業振興、雇用、医療、移住など幅広い分野での意見があった。

その他 ・高齢者だけの世帯や、ひとり暮らしのお年寄りに定期的に訪問して困っていることないか話しを聞いてほしいです。例えば、雪の除雪、**買い物にタクシーを使っていたり**、身体が弱って生活に困っている人、行政との繋がりがあれば精神的にも安心して暮らしていけるのではと思います。

・**高齢で車の免許を返納した後に移動手段がなく、釧路の病院に通院の時に割引になるバスの回数券を町で発行してほしい。**

問20 羅臼町は毎年、出生数よりも死亡数が多い状況が続いていますが、この「自然減少」を食い止めるための取り組みを行うとき、どのような政策に力を入れるべきだと思いますか。3つまで選んで番号に○印を付けてください。

その他（1.7%）の意見としては、働く場所、住む場所に関する意見が多く見られた。

その他 ・**町内の生徒が標津高校に通学していることに高い危機意識が必要と思います。**

■将来に向けた教育環境についてお伺いします。

問21 今後、人口減少に伴い園児・児童数が減少し、複式学級になることが見込まれている将来の小学校と1クラス5名以内となる幼稚園の教育環境について、あなたのお考えにあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

その他（3.0%）では、現状では統合は仕方がないという回答が見られた。

その他 ・**スクールバスを用意した上で、小学校のみ統合してほしい。**
・**通学による子供への負担が解決されれば1で良いと思う。**

問22 今後、人口減少に伴い生徒数が減少し、統廃合の対象となる可能性がある羅臼高校の存続について、あなたのお考えにあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。（公立高等学校配置計画では、5月1日現在の第1学年の在籍者数が2年連続10人未満となった場合は、再編整備を進めます。）

その他（4.9%）としては、高校を存続して欲しいという回答が多かった。

その他 ・**高校が無くても良いが他地区へ通う場合の助成が必要。**

■将来に向けた生活環境についてお伺いします。

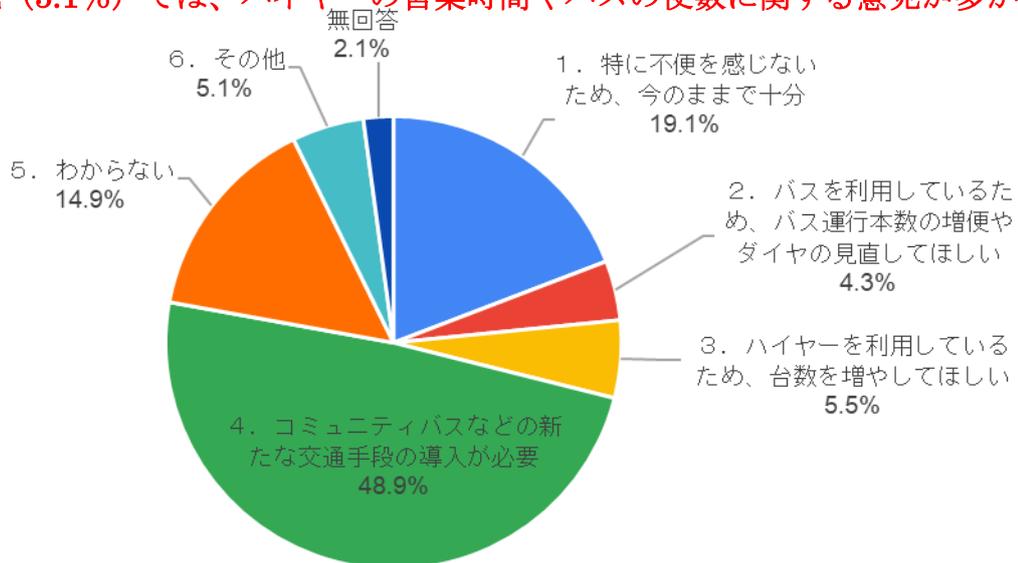
問23 今後の暮らしにおいて、お住まいの近くに欠かせないと思う施設を3つまで選んで番号に○印を付けてください。

- その他
- ・交通機関
 - ・歩いて行けるバス停

・問24 羅臼町では現在、バスとハイヤーの運行により皆様の移動の足として役割を担っていますが、利用者の減少などが課題となっています。今後の公共交通のあり方についてあなたのお考えにあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

「4. コミュニティバスなどの新たな交通手段の導入が必要」が48.9%と突出して多かった。自動車運転免許を返納した方や将来的に返納するであろうと考える方の回答が多かったのではないと思われる。

その他（5.1%）では、ハイヤーの営業時間やバスの便数に関する意見が多かった。



その他

- ・ハイヤーがないため飲食ができない
- ・スクールバス（平等な部活動を行うため）
- ・ハイヤーの運行時間が短すぎる
- ・ハイヤーは役に立っているでしょうか？電話もつながらなくなり、使いたい時に使えません
- ・ハイヤー運行をバス会社が実施する
- ・バス運行に町の負担もわからないので、町民には知りえない
- ・一人世帯老人等、病院等へ行く手段を！
- ・営業が早すぎる、ハイヤーの利用に困る
- ・夏場は学生利用が増えるため、通学時間は台数を増やしてほしい
- ・現在は不便なし（車使用のため）。高齢になった時に運転技術や、免許証返納で移動手段（買い物、病院、娯楽など）がなくなる。バスは時間がかかる
- ・今は不便はないが近い将来必ず無理が生じる
- ・使いたい時にハイヤーがないのは不便
- ・子供が少年団、習い事に使用できる時間（夕方～夜）の便を増やしてほしい
- ・自動運転乗合タクシー

- ・町民の利用は益々減るんだから増えていく観光客も利用しやすいダイヤを検討したほうが多い
- ・土日祝日のバス（釧路行）の便に見直しが必要！飛行機に合わせる便が欲しいです
- ・夜の交通手段がない
- ・社協などの既存の仕組みを積極的に活用させる支援
- ・必要な人はいます。必要な方々の意見を聞いてあげてほしい。
- ・利用できる時間を延長してほしい。
- ・夜間のハイヤー運行
- ・ハイヤーについて飲食店が閉まる時間までは営業してほしい。
- ・自分は不便を感じないが、この先どこにも行けない人が羅臼に残ると思うのでバスやハイヤーでは対応できないのではないかな。
- ・学校が休みの日は運休になっているが部活動などでバスを利用したいが運休なので使用できないので学校が休みの日も運行してほしい。

問28 最後に、新しい総合計画の策定にあたって、将来にわたって住み良い羅臼町を維持していくためのアイデアやご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・子どもたちが安全に通えるようにスクールバスを整備してほしい。
- ・空き家の撤去又はリノベーションして羅臼に住みたい他町の人に売る貸すなど。スクールバス（専用）にしてほしい。自然に気軽に触れ合える場所。買い物できる場所。冬でも斜里側に行く事が出来る道（冬に陸の孤島となる不安感）。支援など該当する家庭への呼び掛け（言わないと支援を受けられない町は不信感しかない）。移住の ZOOM 相談の内容の空っぽさを何とかするべき。このままだったら無い方が良い。相談といいつつ無責任すぎる対応。役場の各受付の方々の雰囲気や対応が、他の町と比べてものすごく優しく、この町に来た時すごく安心した事を良く覚えています。いつもありがとうございます。羅臼に移住はかなり難しいのですが、他の町からの移住はしてほしくなく、今住んでいる人たちがどうしたら出ていかないか…という事なのでしょう。
- ・交通には少し不便ですがとても良い所です。
- ・生活弱者が多く生活している公住にバス停がなかったり、お店が少ない。公共交通が不便なので歩行者が休めるベンチが欲しい。ベンチがあればそこが寄合所にもなると思う。
- ・体験実習センターの有効活用、定期的に利用出来ないか（イベント・セミナー・集いの場・カフェや軽食）（町バス送迎あり）
- ・免許を返納したらタクシーやバスの割引券発行とか何か特典があるなら進んで返納しますが、老人二人です。助けてくださる方もおりません。考慮していただければ幸いです。
- ・幼稚園の統合は、13 時、15 時その他預かりと帰り時間がバラつき、スクールバスが出ない時間の場合は、どちらかはじの町内の子たち等はお迎えが大変。統合する場合、13 時便、15 時便 2 本はバスを用意してほしい。15 時まで無償化なのに 13 時しかない、遠くて迎えが無理な人は 13 時バスで帰ってきてもらうしか手段がなくなり不平等だと思う。

第8期羅臼町総合計画 羅臼町まちづくりアンケート（中高生用）回答結果

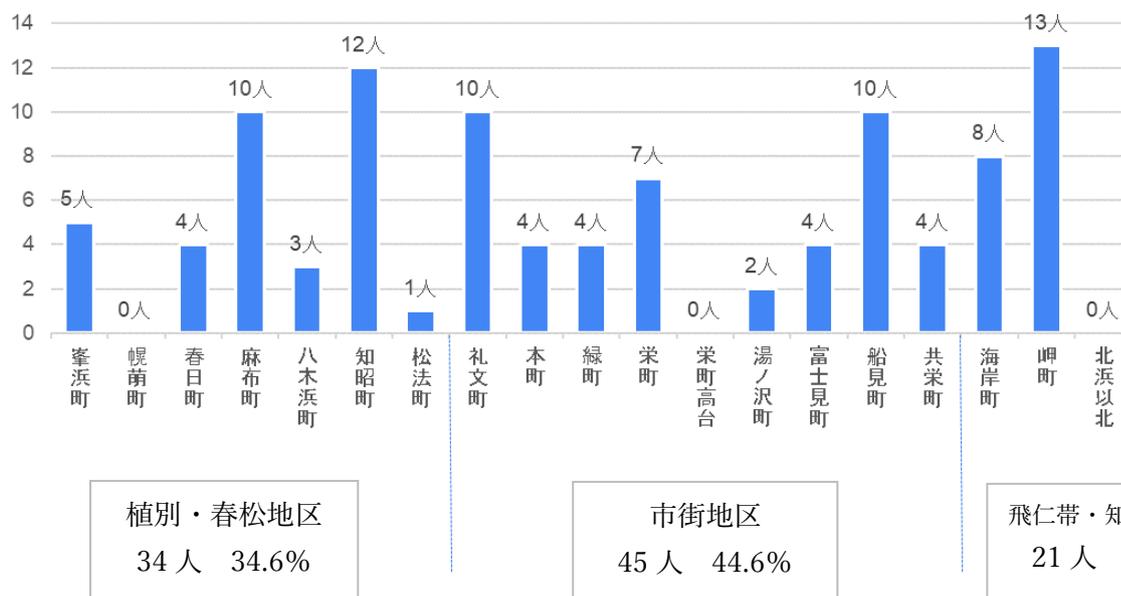
【対象】 町内中学生及び高校生 175名
 【方法】 各学校を經由し配布しインターネット回答
 【期間】 令和5年2月15日～令和5年3月15日
 【結果】 101名 回答率57.7%（全てWEB回答）

【結果 抜粋】

問4 あなたがお住まいの住所について、1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

市街地区への居住者数が最も多く、次いで植別・春松地区、飛仁帯・知円別地区の順であった。

飛仁帯・知円別地区は海岸町及び岬町の2町のみを集計となるため、生徒数が少なくなりがちだが、岬町在住が13名と全町で最多人数となっている。

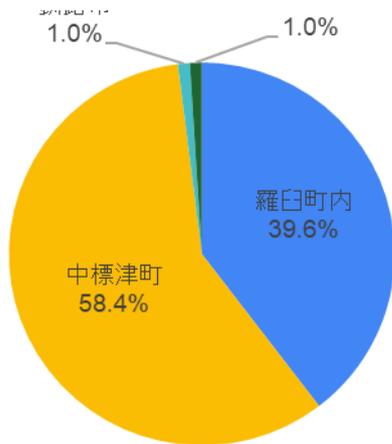


■あなたの暮らしについてお伺いします。

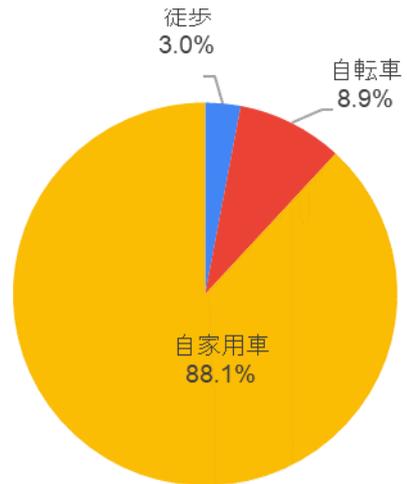
問 10 日常生活における日用品（食料品など）の買い物について、最も多いと思う行き先と移動手段をそれぞれ1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

「最も多いと思う行き先」は中標津町の58.4%、羅臼町内が39.6%であった。
「移動手段」は自家用車が88.1%と圧倒的に多かった

最も多いと思う行き先（食料品など）



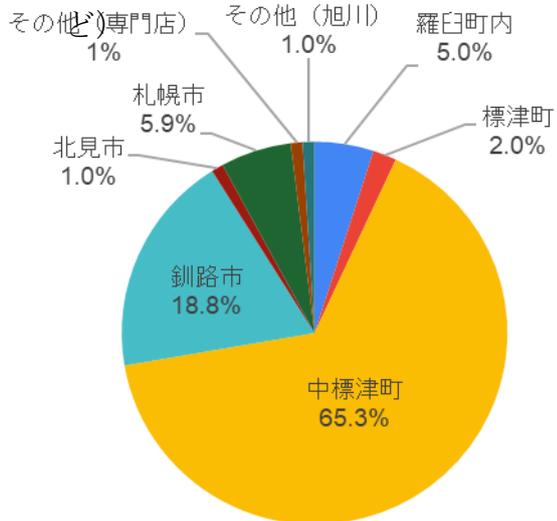
移動手段（食料品など）



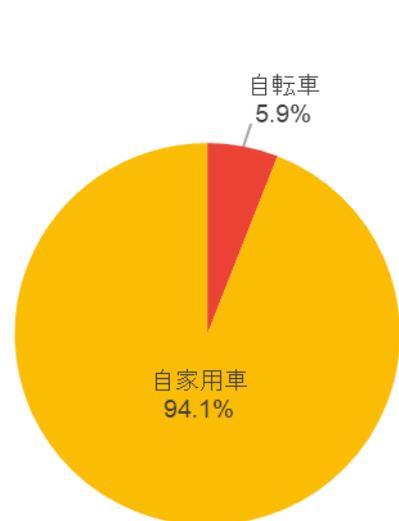
問 11 日常生活における非日用品（衣料品など）の買い物について、最も多いと思う行き先と移動手段をそれぞれ1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

「最も多いと思う行き先」は中標津町の65.3%、釧路市が18.8%であった。
「移動手段」は自家用車が94.1%と圧倒的に多かった

最も多いと思う行き先（衣料品など）



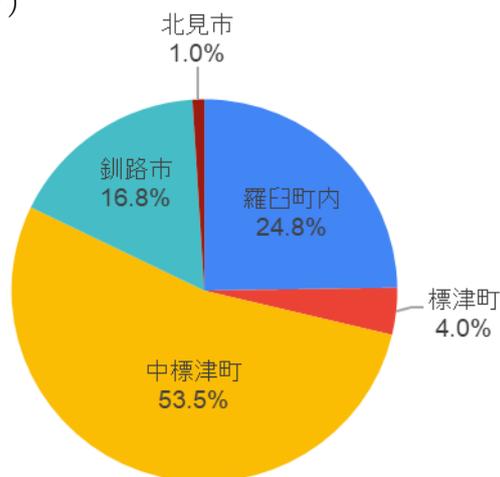
移動手段（衣料品など）



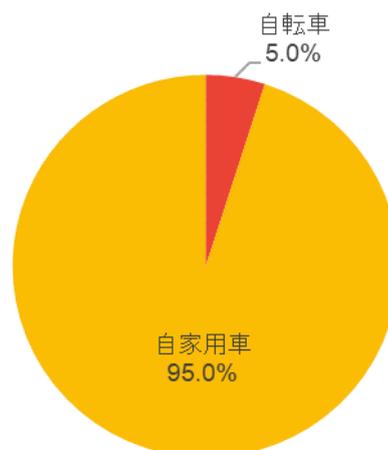
問 12 病院などへの通院について、最も多いと思う行き先と移動手段をそれぞれ1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

「最も多いと思う行き先」は中標津町の 53.3%、次いで羅臼町内が 24.8%、釧路市が 16.8%であった。「移動手段」は自家用車が 95.0%と圧倒的に多かった。

最も多いと思う行き先（病院など）



移動手段（病院など）



問16 あなたは、これからも羅臼町に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

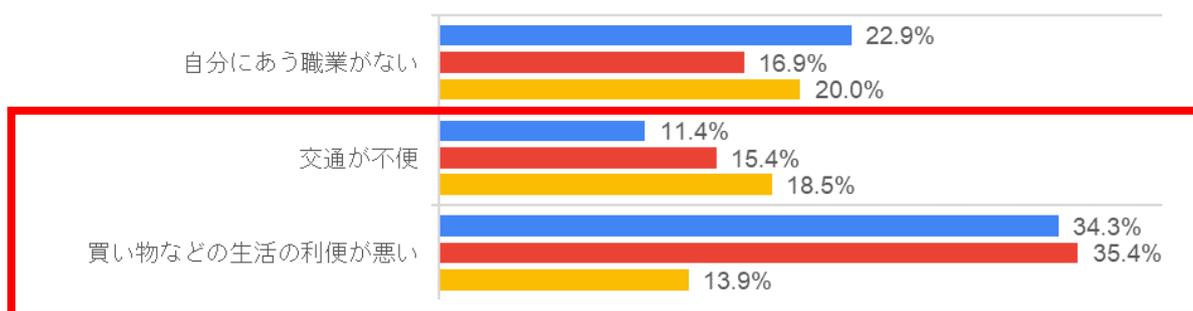
「いずれは引っ越したい」が 59.4%と最も多く、「すぐにでも引っ越したい」の 9.9%を合わせると約 70%の生徒が町外への転出を考えていることが分かった。

「できるなら住み続けたい」は 11.9%であり、何らかの希望が叶う町であれば住み続けることを検討するものと考えられる。

「3. いずれは引っ越したい」「4. すぐにでも引っ越したい」を選んだ方の理由に当てはまるものを、1位から3位まで選んで右の枠の中に順位（1, 2, 3）を書いてください。

引っ越したいと思う要因としては、買い物の不便さが圧倒的に多かった。自由に欲しいものを見たり触ったり食べたりすることができないことの不自由さが影響しているものと思われる。余暇や娯楽、交通についても買い物と同じ要因であろう。

また、生徒自身が受けたい教育、就業したい職種が羅臼町には無いため、転出を考えることが理由としても明確になった。



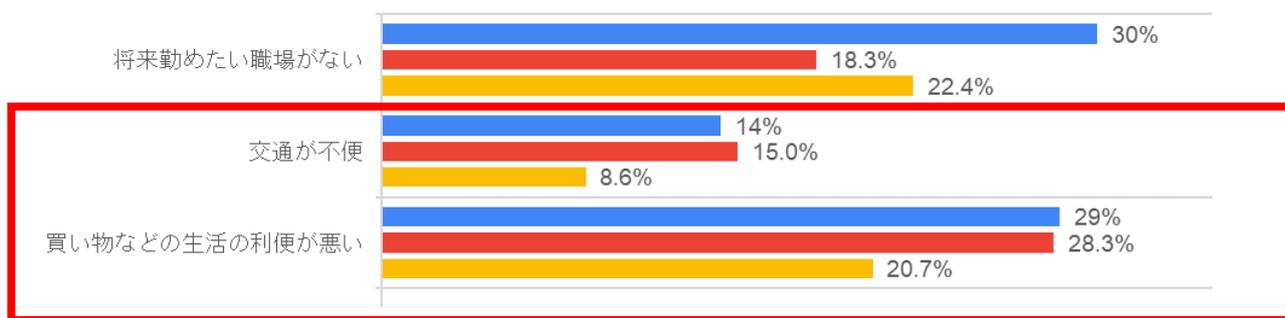
問17 中学生・高校生の皆さんのみお答えください。

あなたは、就職や進学で羅臼町を離れた後、羅臼町に戻りたいですか。1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

「戻りたい」「どちらかといえば戻りたい」の合計は 26.7%、「戻りたくない」「どちらかといえば戻りたくない」の合計が 43.8%となった。問 16 及び次の設問でも明確となっているとおおり、生活の不便さが主な要因となっている。

「3. どちらかといえば戻りたくない」「4. 戻りたくない」を選んだ方の理由に当てはまるものを、1位から3位まで選んで右の枠の中に順位（1，2，3）を書いてください。

問 16 と同様の理由から、一度、羅臼町を離れても戻りがたいとの考えが多かった。



■羅臼町の取り組みについてお伺いします。

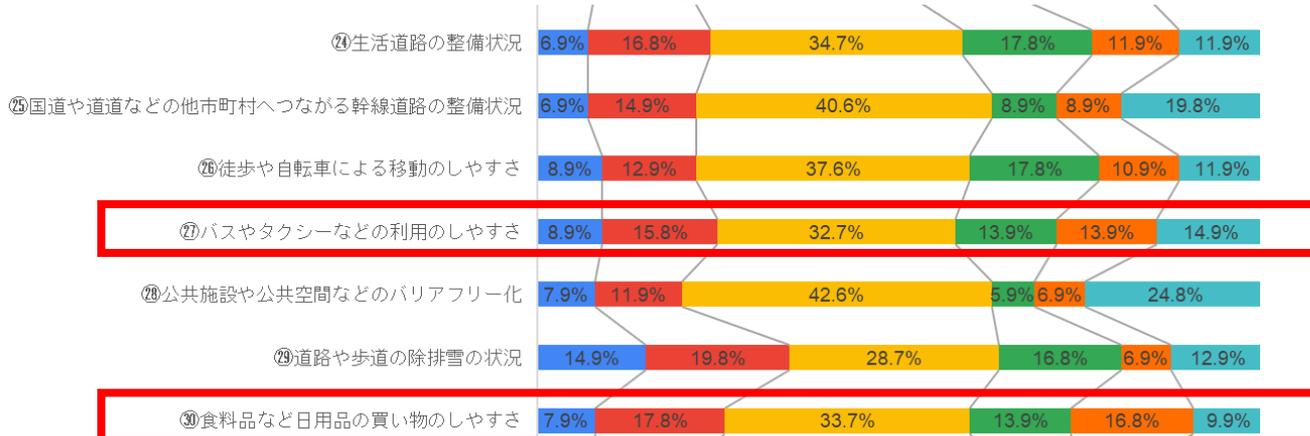
問18 毎日の暮らしの中で、羅臼町の実生活環境や行政サービスなどに満足していますか。また、今後羅臼町が取り組むにあたり、どのくらい重要だとお考えですか。次の各項目について、あなたのお考えにいちばん近い「現在の満足度」の数字と「今後の重要度」のアルファベットを、それぞれ1つずつ選んで○印を付けてください。

【4 まちづくりに関する項目】

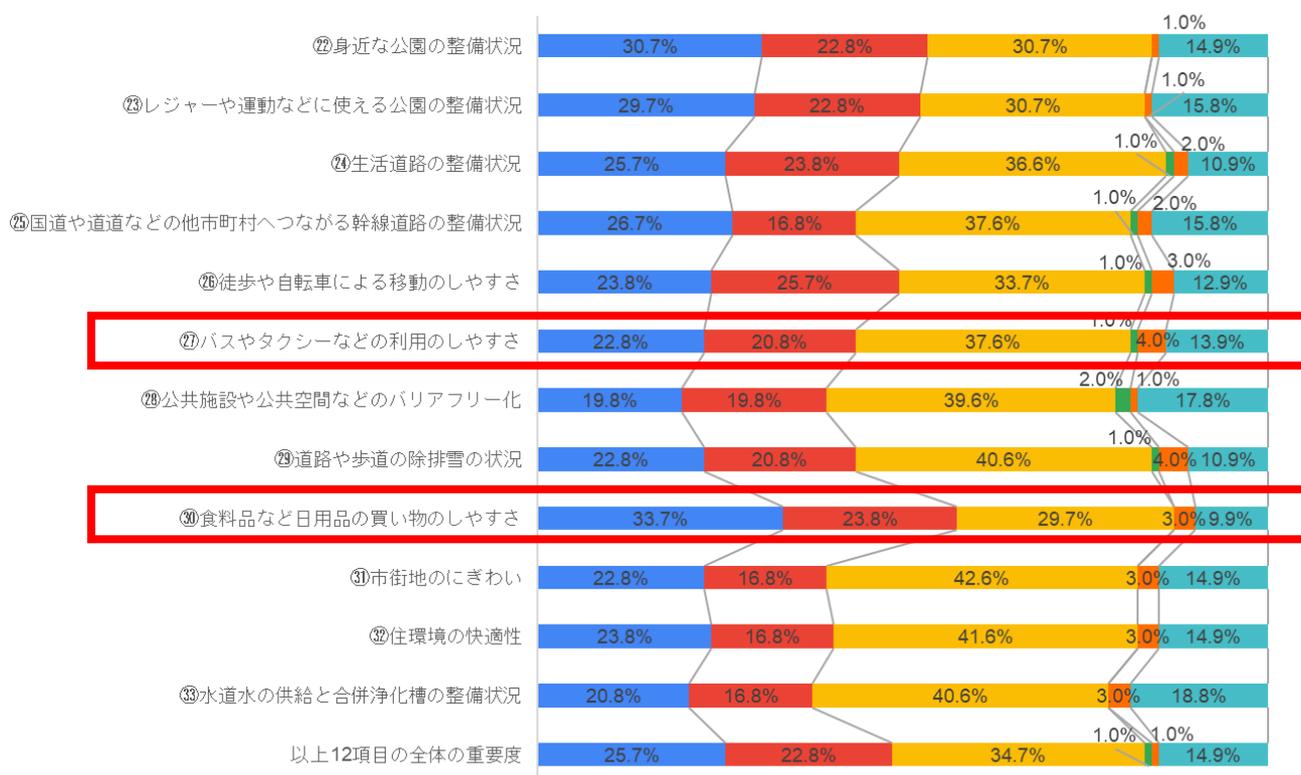
「現在の満足度」については、生徒らの年齢層が集える場所や買い物ができる場所等々の趣味・余暇・購買などに関わる部分について満足度が低く不満度が高かった。

「今後の重要度」においても、同様にそれらの取組へ力を入れるべきとの回答となっている。特に「**㊸食料品など日用品の買い物のしやすさ**」については高く求められる回答となった。

4 まちづくりに関する項目「現在の満足度」



4 まちづくりに関する項目「今後の重要度」

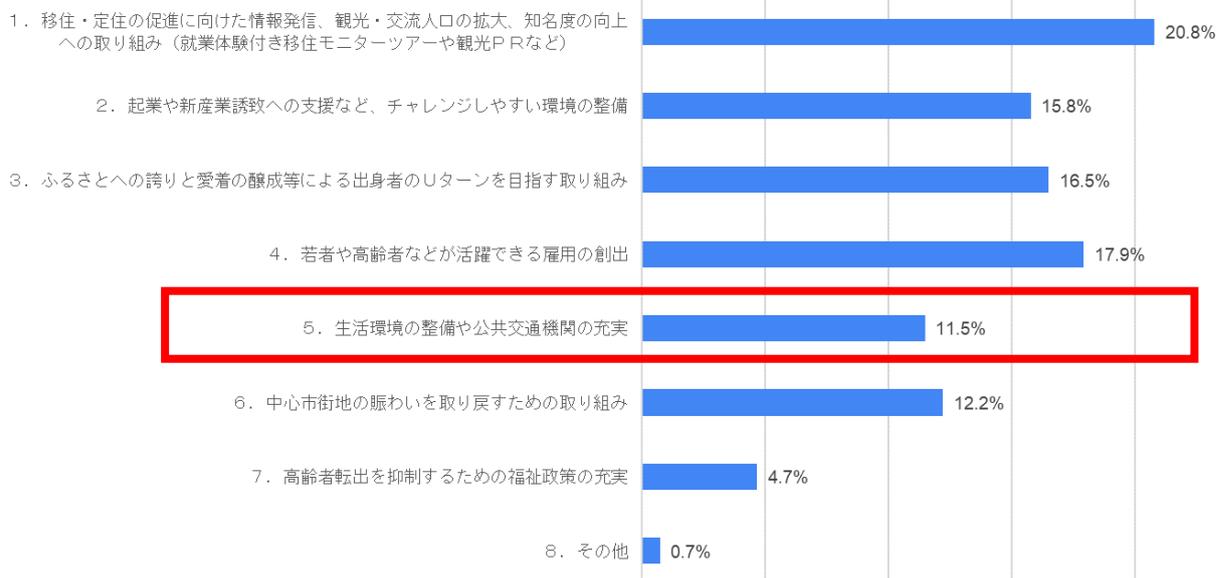


■将来に向けた人口減少対策についてお伺いします。

問19 羅臼町は毎年、転入者よりも転出者が多い状況が続いていますが、この「社会減少」を食い止めるための取り組みを行うとき、どのような政策に力を入れるべきだと思いますか。3つまで選んで番号に○印を付けてください。

「1. 移住・定住の促進に向けた情報発信、観光・交流人口の拡大、知名度の向上への取り組み」が20.8%と最多であった。次いで「4. 若者や高齢者などが活躍できる雇用の創出」が17.9%となっている。Uターン、起業・新産業誘致への回答も多く、羅臼町の知名度を活かした来訪者の増加と働く場の創出が重要と考えられている。

その他(0.7%)としては、「わからない」と回答したのが2件であった。

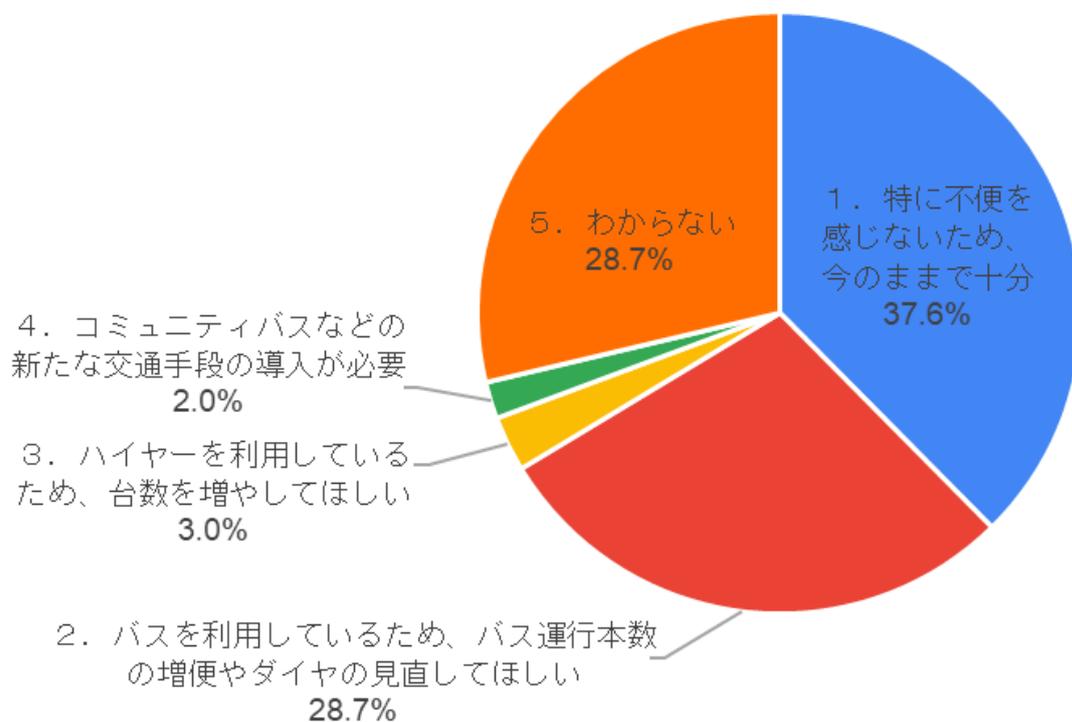


問24 羅臼町では現在、バスとハイヤーの運行により皆様の移動の足として役割を担っていますが、利用者の減少などが課題となっています。今後の公共交通のあり方についてあなたのお考えにあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

「1. 特に不便を感じないため、今のままで十分」が37.6%と多かった。

問11での日用品等の買い物は自家用を活用していることから、交通手段としてはあまり不便さを感じず、それが普通と認識しているのではないかと思われる。また、次に多かった。

「2. バスを利用しているため、バス運行本数の増便やダイヤを見直してほしい」の28.7%については、下校や部活動の帰り、終了時間を気にせずに利用できる移動手段として希望が多かったと思われる。



羅臼町 地域公共交通計画策定に向けた 事業の実施概要

令和6年5月



1. 現況交通実態調査の概要

- 基礎データ(人口や免許返納状況、自動車保有台数、交通事故状況、生活機能施設、観光入込客数)及び公共交通に係るデータ(道路網、各交通機関の利用者データ、移動支援に係る事業経費)等の収集
- 必要に応じて、基礎データ及び公共交通データの収集を追加検討
- 地域課題の“見える化”
- 関係者ヒアリング等で地域課題を直感的に理解・共有しやすい資料作成

1. 現況交通実態調査の概要

- ☑ 交通事業者をはじめとする関係団体や庁内関係部局を対象としたヒアリング調査を実施
- ☑ 必要に応じて、ヒアリング調査対象の追加検討
- ☑ 町内の交通資源(運転手、保有車両、各種既存交通の利用状況、交通資源の維持に係る経費の状況等)の詳細把握

《ヒアリング調査の実施の視点及び想定するヒアリング内容(案)》

ヒアリング調査の視点	ヒアリング対象	想定するヒアリング内容(案)
高齢者福祉に係る基礎データの収集	・ 保健福祉課	・ 高齢者の移動状況の把握 ・ 高齢者等の移動支援の状況 など
子育て支援に係る基礎データの収集	・ 保健福祉課	・ 子育て世代の移動状況の把握 ・ 子育て世代の移動支援の状況 など
路線バス（通園通学バス含む）に係る基礎データの収集	・ 阿寒バス(株)	・ 運転手及び保有車両について ・ 公共交通の利用状況 ・ 公共交通の運行継続に係る課題 ・ 町内における新たな公共交通の担い手の可能性 など
観光交通に係る基礎データの収集	・ 観光協会等	・ 観光客の移動実態 ・ 町内の移動ニーズ など

2. 公共交通利用実態調査及び社会実験の概要

- ☑利用目的や乗継有無、バス停別の利用状況のほか、バス交通に対する改善点を把握して、**運行に係る課題**が浮き彫りとなる資料を作成
- ☑新たな交通を導入するため、**試験的に実証実験**を行い、その結果を**現状の交通及び計画にフィードバック**する。

実証社会実験その1 《診療所からの送迎・買い物便》

診療所への到着時刻

区分	★	★	★
出発地	植別	釧路	釧路
到着時刻	8:51	11:05	13:40



例えば診療が9時に始まり
11時に終了しても
2時間は待ち時間がある

春日線（南側）

区分	★		■
行先	釧路	釧路	植別
出発時刻	9:20	13:00	14:55

診療所からの出発時刻

診療所への到着時刻

区分		★
出発地	岩見橋詰	岩見橋詰
到着時刻	8:51	13:46

知円別線（北側）

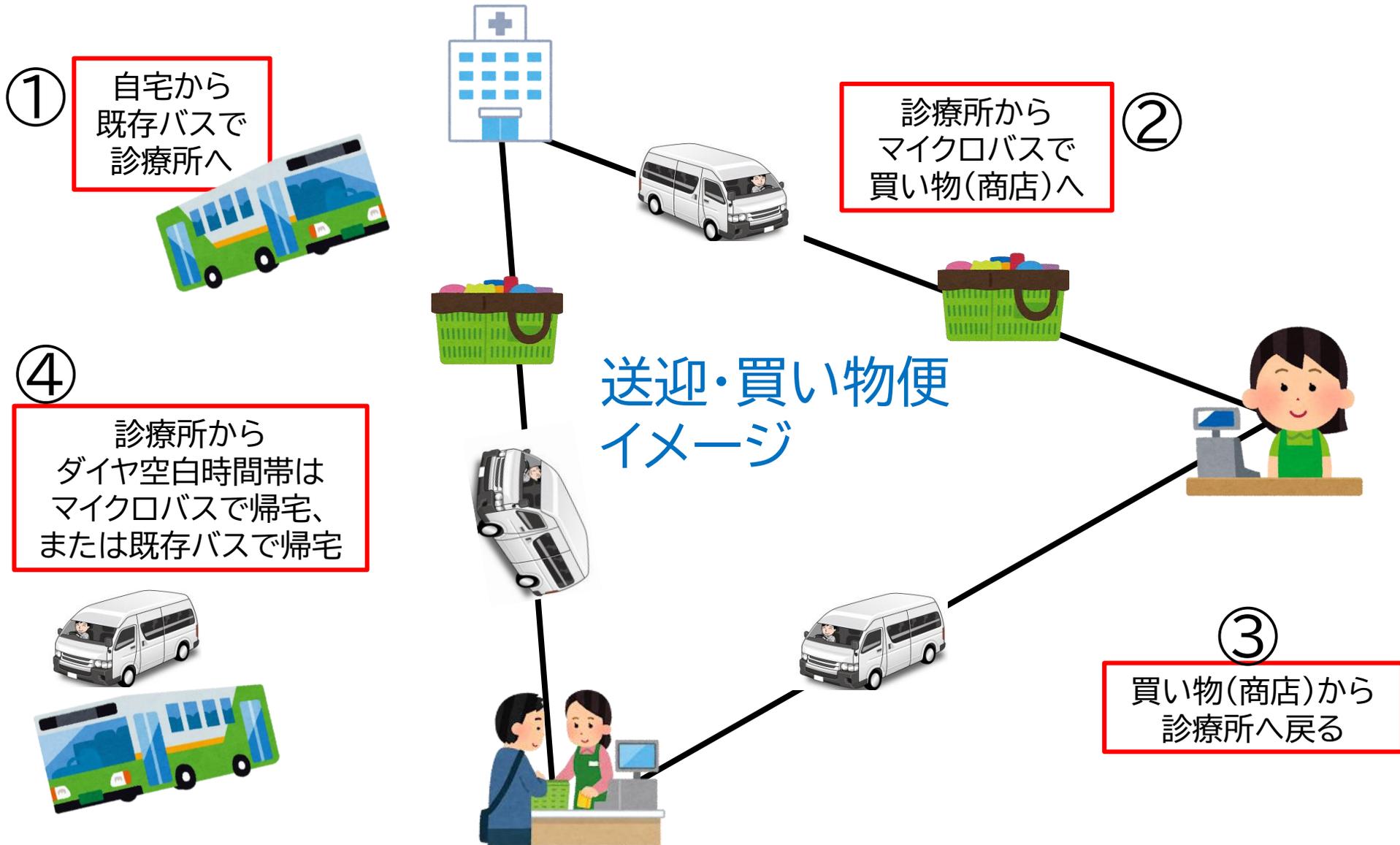
区分	★	■
行先	岩見橋詰	岩見橋詰
出発時刻	13:00	15:00

診療所からの出発時刻

このギャップを埋める

2. 公共交通利用実態調査及び社会実験の概要

実証社会実験その1 《診療所からの送迎・買い物便》



2. 公共交通利用実態調査及び社会実験の概要

実証社会実験その2 《バスダイヤ空白時間帯 運行実験》

釜浜→診療所→湯ノ沢→診療所	①	診療所→岬	②	岬→診療所→湯ノ沢→診療所	③	診療所→釜浜町	④	釜浜→診療所→湯ノ沢→診療所	⑤	診療所→岬町	⑥
植別橋	9:10	羅臼診療所	9:50	ルサ川	10:25	羅臼診療所	11:02	植別橋	11:36	羅臼診療所	12:14
釜浜入口	9:11	富士見町	9:51	岩見橋詰	10:27	富士見町	11:03	釜浜入口	11:37	富士見町	12:15
釜浜町	9:12	漁協前	9:52	建根別中央	10:28	羅臼本町	11:05	釜浜町	11:38	漁協前	12:16
幌萌町	9:18	洞くつ前	9:53	建根別橋詰	10:29	礼文入口	11:06	幌萌町	11:44	洞くつ前	12:17
運動公園	9:21	チトライ	9:54	コミセン前	10:30	高校前	11:07	運動公園	11:47	チトライ	12:18
春日大川	9:22	ガゼ岩	9:56	岬町漁港前	10:31	松法橋詰	11:09	春日大川	11:48	ガゼ岩	12:20
春日福祉会館前	9:23	随道口	9:57	岬町橋詰	10:32	知昭神社	11:10	春日福祉会館前	11:49	随道口	12:21
春日中央	9:24	海岸町第一	9:58	モセカル別中央	10:33	知昭中央	11:11	春日中央	11:50	海岸町第一	12:22
精神川	9:25	海岸町第二	9:59	サクホク中央	10:35	八木浜学校	11:12	精神川	11:51	海岸町第二	12:23
麻布福祉会館前	9:26	神社前	10:00	天狗岩	10:36	八木浜町	11:13	麻布福祉会館前	11:52	神社前	12:24
麻布橋南	9:27	海岸町中央	10:01	サシルイ中央	10:38	麻布橋南	11:14	麻布橋南	11:53	海岸町中央	12:25
八木浜町	9:28	南橋詰	10:02	サシルイ	10:39	麻布福祉会館前	11:15	八木浜町	11:54	南橋詰	12:26
八木浜学校	9:29	サシルイ	10:03	南橋詰	10:40	精神川	11:16	八木浜学校	11:55	サシルイ	12:27
知昭中央	9:30	サシルイ中央	10:04	海岸町中央	10:41	春日中央	11:17	知昭中央	11:56	サシルイ中央	12:28
知昭神社	9:31	天狗岩	10:06	神社前	10:42	春日福祉会館前	11:18	知昭神社	11:57	天狗岩	12:30
松法橋詰	9:32	サクホク中央	10:07	海岸町第二	10:43	春日大川	11:19	松法橋詰	11:58	サクホク中央	12:31
高校前	9:34	モセカル別中央	10:09	海岸町第一	10:44	運動公園	11:20	高校前	12:00	モセカル別中央	12:32
礼文入口	9:35	岬町橋詰	10:10	随道口	10:45	幌萌町	11:23	礼文入口	12:01	岬町橋詰	12:33
羅臼本町	9:36	岬町漁港前	10:11	ガゼ岩	10:46	釜浜町	11:29	羅臼本町	12:02	岬町漁港前	12:34
富士見町	9:38	コミセン前	10:12	チトライ	10:48	釜浜入口	11:30	富士見町	12:03	コミセン前	12:35
羅臼診療所	9:40	建根別橋詰	10:13	洞くつ前	10:49	植別橋	11:31	羅臼診療所	12:04	建根別橋詰	12:36
阿寒バス営業所	9:41	建根別中央	10:14	漁協前	10:50	※休憩		阿寒バス営業所	12:05	建根別中央	12:37
湯ノ沢地区	9:42	岩見橋詰	10:15	富士見町	10:51			湯ノ沢地区	12:06	岩見橋詰	12:38
福寿園	9:43	ルサ川	10:17	羅臼診療所	10:52			福寿園	12:07	ルサ川	12:40
羅臼温泉	9:44	※休憩		阿寒バス営業所	10:53			羅臼温泉	12:08		
ビジターセンター	9:45			湯ノ沢地区	10:54			ビジターセンター	12:09		
羅臼温泉	9:46			福寿園	10:55			羅臼温泉	12:10		
福寿園	9:47			羅臼温泉	10:56			福寿園	12:11		
湯ノ沢地区	9:48			ビジターセンター	10:57			湯ノ沢地区	12:12		
阿寒バス営業所	9:49			羅臼温泉	10:58			阿寒バス営業所	12:13		
羅臼診療所	9:50			福寿園	10:59			羅臼診療所	12:14		
				湯ノ沢地区	11:00						
				阿寒バス営業所	11:01						
				羅臼診療所	11:02						

3. 地域公共交通計画(イメージ)の取りまとめ

■ 羅臼町地域公共交通計画 目次(案)

1. 計画策定にあたって

- 1-1 計画策定の背景と目的
- 1-2 本町の位置及び地勢
- 1-3 本町内を運行する各公共交通の位置づけ
- 1-4 計画の区域(羅臼町全域)
- 1-5 計画期間

2. まちづくりの方向性

- 2-1 関係法令の整理
- 2-2 上位計画の整理
- 2-3 関連計画の整理
- 2-4 北海道等における関連計画の整理
- 2-5 本計画の位置づけ

3. 地域の概況

- 3-1 本町の人口概況
- 3-2 自動車運転免許保有状況(推計)
- 3-3 地域の移動の状況
- 3-4 移動の目的地となる主要施設の状況
- 3-5 地域の概況から見える課題の整理

4. 公共交通の現状

- 4-1 町内を運行する公共交通の整理
- 4-2 各交通の利用状況
- 4-3 本町が支援する移動に係るサービス
- 4-4 公共交通関連支出の整理
- 4-5 公共交通の現状から見える課題の整理
- 4-6 町内を運行する移動手段と利用者属性・課題の整理

5. 町民や関係者の意向等

- 5-1 町民を対象とした公共交通に関するアンケート調査
- 5-2 町民や関係者の意向等の整理
- 5-3 社会実験結果

6. 計画期間内で解決すべき課題(重点課題)

7. 基本的な方針と目標

- 7-1 基本的な方針
- 7-2 目標及び目標に紐づく公共交通施策
- 7-3 目指すべき将来像
- 7-4 本町内を運行する今後の公共交通の役割・位置づけ
- 7-5 本計画における公共交通の主なターゲット

8. 公共交通施策・事業及びその実施主体等

9. 公共交通施策の評価指標

- 9-1 公共交通施策と評価指標の関係性
- 9-2 評価指標の算出方法及び目標値
- 9-3 評価スケジュール

10. 今後について

- 10-1 計画推進体制
- 10-2 今後のスケジュール

4. 実施スケジュール(案)

